

特 許 協 力 条 約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

REC'D 01 JUL 2004

WIPO

PCT

(法第12条、法施行規則第56条)
[PCT36条及びPCT規則70]

出願人又は代理人 の書類記号 PON047	今後の手続きについては、様式PCT/ IPEA/ 416を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP03/10839	国際出願日 (日.月.年) 27. 08. 2003	優先日 (日.月.年) 11. 09. 2002
国際特許分類 (IPC) Int. Cl ⁷ H04L9/08, H04L9/14, G11B20/10, G11B20/12, G06F12/14		
出願人 (氏名又は名称) バイオニア株式会社		

1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。 法施行規則第57条 (PCT36条) の規定に従い送付する。	
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 4 ページからなる。	
3. この報告には次の附属物件も添付されている。	
a	<input type="checkbox"/> 附属書類は全部で _____ ページである。
	<input type="checkbox"/> 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙 (PCT規則70.16及び実施細則第607号参照)
	<input type="checkbox"/> 第I欄4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの国際予備審査機関が認定した差替え用紙
b	<input type="checkbox"/> 電子媒体は全部で _____ (電子媒体の種類、数を示す)。 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテーブルを含む。 (実施細則第802号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。	
<input checked="" type="checkbox"/>	第I欄 国際予備審査報告の基礎
<input type="checkbox"/>	第II欄 優先権
<input type="checkbox"/>	第III欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
<input type="checkbox"/>	第IV欄 発明の単一性の欠如
<input checked="" type="checkbox"/>	第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
<input type="checkbox"/>	第VI欄 ある種の引用文献
<input type="checkbox"/>	第VII欄 国際出願の不備
<input type="checkbox"/>	第VIII欄 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 26. 02. 2004	国際予備審査報告を作成した日 10. 06. 2004	
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官 (権限のある職員) 青木 重徳	5M 4229
電話番号 03-3581-1101 内線 3597		

様式PCT/ IPEA/ 409 (表紙) (2004年1月)

第I欄 報告の基礎

1. この国際予備審査報告は、下記に示す場合を除くほか、国際出願の言語を基礎とした。

☐ この報告は、_____語による翻訳文を基礎とした。
それは、次の目的で提出された翻訳文の言語である。

- ☐ PCT規則12.3及び23.1(b)という国際調査
☐ PCT規則12.4という国際公開
☐ PCT規則55.2又は55.3という国際予備審査

2. この報告は下記の出願書類を基礎とした。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に応答するために提出された差替え用紙は、この報告において「出願時」とし、この報告に添付していない。)

☒ 出願時の国際出願書類

☐ 明細書

第 _____ ページ、	出願時に提出されたもの
第 _____ ページ*	付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ*	付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 請求の範囲

第 _____ 項、	出願時に提出されたもの
第 _____ 項*	PCT19条の規定に基づき補正されたもの
第 _____ 項*	付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ 項*	付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 図面

第 _____ ページ/図、	出願時に提出されたもの
第 _____ ページ/図*	付けて国際予備審査機関が受理したもの
第 _____ ページ/図*	付けて国際予備審査機関が受理したもの

☐ 配列表又は関連するテーブル

配列表に関する補充欄を参照すること。

3. ☐ 補正により、下記の書類が削除された。

- | | |
|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> 明細書 | 第 _____ ページ |
| <input type="checkbox"/> 請求の範囲 | 第 _____ 項 |
| <input type="checkbox"/> 図面 | 第 _____ ページ/図 |
| <input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること) | _____ |
| <input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) | _____ |

4. ☐ この報告は、補充欄に示したように、この報告に添付されかつ以下に示した補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c))

- | | |
|--|---------------|
| <input type="checkbox"/> 明細書 | 第 _____ ページ |
| <input type="checkbox"/> 請求の範囲 | 第 _____ 項 |
| <input type="checkbox"/> 図面 | 第 _____ ページ/図 |
| <input type="checkbox"/> 配列表 (具体的に記載すること) | _____ |
| <input type="checkbox"/> 配列表に関連するテーブル (具体的に記載すること) | _____ |

* 4. に該当する場合、その用紙に“superseded”と記入されることがある。

第V欄 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条（PCT35条(2)）に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

1. 見解

新規性 (N)	請求の範囲	1-22	有
	請求の範囲		無
進歩性 (IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1-22	無
産業上の利用可能性 (IA)	請求の範囲	1-22	有
	請求の範囲		無

2. 文献及び説明 (PCT規則70.7)

文献1: JP 2001-358705 A (ソニー株式会社),
2001.12.26
文献2: JP 2001-211149 A (ソニー株式会社),
2001.08.03

請求の範囲1-9に係る発明は、国際調査報告に引用された文献1と国際調査報告に引用された文献2の第【0173】-【0175】段落とにより進歩性を有しない。文献2により教示された鍵ブロックのデータ構造を地域毎に異なるよう設定する鍵の管理技術を、文献1に記載されているコンテンツ配信側からコンテンツ受信側の各デバイスに暗号データを配信する場合における各デバイスにおける暗号処理鍵の保有構成として、自己の属するエンティティの頂点ノードから自己のデバイスに対応するリーフに至るパス上のノード、リーフに設定されたノードキー及びリーフキーを格納する情報記録媒体に用いることは、当業者にとって容易であるし、リーフキーやノードキーに対する地域の割り当て設定をどのようにして鍵管理を行うかは、システム規模や鍵数などに応じて当業者が適宜決定しうる設計的事項に過ぎない。

請求の範囲10に係る発明は、文献1と文献2の第【0173】-【0175】段落とにより進歩性を有しない。文献2により教示された鍵ブロックのデータ構造を地域毎に異なるよう設定する鍵の管理技術を、文献1に記載されている木構造パターン分割方式による各キーを格納する情報記録装置に用いることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲11-14に係る発明は、文献1と文献2の第【0173】-【0175】段落とにより進歩性を有しない。文献2により教示された鍵ブロックのデータ構造を地域毎に異なるよう設定する鍵の管理技術を、文献1に記載されている木構造パターン分割方式により格納されている各キーを用いてコンテンツを再生する情報再生装置に用いることは、当業者にとって容易である。

請求の範囲15に係る発明は、文献1、2に記載されているコンテンツ配信側からコンテンツ受信側の各デバイスにコンテンツキーで暗号化した暗号データおよびコンテンツキー暗号キーで暗号化したコンテンツキーデータを配信する情報配信装置から、当業者によって容易に構成しうるものであるから、進歩性を有しない。

補充欄

いずれかの欄の大きさが足りない場合

第 V.2 欄の続き

請求の範囲 16, 17, 19, 21に係る発明は、文献1と文献2の第【0173】－【0175】段落とにより進歩性を有しない。

文献2により教示された鍵ブロックのデータ構造を地域毎に異なるよう設定する鍵の管理技術を、文献1に記載されている木構造パターン分割方式により格納されている各キーを用いてコンテンツを再生する情報再生方法に用いることは、当業者にとって容易であるし、該方法を計算機でソフトウェア処理するにあたりプログラム化して記録媒体に記録しておくことは、当業者にとって常套手段である。

請求の範囲 18, 20, 22に係る発明は、文献1と文献2の第【0173】－【0175】段落とにより進歩性を有しない。

文献2により教示された鍵ブロックのデータ構造を地域毎に異なるよう設定する鍵の管理技術を、文献1に記載されている木構造パターン分割方式により格納されている各キーを用いてコンテンツを再生する情報再生方法に用いることは、当業者にとって容易であるし、該方法を計算機でソフトウェア処理するにあたりプログラム化して記録媒体に記録しておくことは、当業者にとって常套手段である。